

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	波の家保育センター					公表日 令和7年2月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	スペースは利用者に合っている。人数に応じて区切る事もある。	今後もスペースを確保していきます。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	その日の利用人数を確保し、調整や情報共有しています。	急な職員の休みが重なる事がある。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	マットやシート、三角コーンなどを用いて視覚的に分かりやすく示しています。	2階への階段を使用する際には、必ず職員が付き安全に努める。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	日々の清掃に加え、目についたゴミは取り除いています。活動に合わせて分かりやすく示しています。	仕切りがない為、活動によっては集中しにくい。パーテーションを活用する。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	必要に応じて個別に使用できるよう環境作りに努めています。	個室の数に限りがある為、使い方を検討する。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	日々の記録や話し合いをこまめに行っています。参画しやすい環境作りに努めています。	全員が揃って話し合う時間を作る事は難しい。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	ミーティング等を通して、出来る事を考え、取り入れられるよう意見を出し合っています。	職員の「保護者向け評価表」への関心度が低い。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	各々が意見を発信しやすいよう、雰囲気作りに努め、良いものは取り入れています。	一人一人が意見を発信しやすい関係作りや雰囲気作りに努める。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	法人内で定期的に研修が開催されています。研修は学んだことを周知できるよう努めています。	研修の回数がもう少しあっても良いのではという意見がある。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	年齢や特性に応じて対応できるよう努めています。毎月のお便りや掲示にて公表しています。	より多くの保護者の方に見て頂けるよう、更に努めていく。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	決められた期間内にアセスメントを行っています。主観的にならないよう話し合いを行っています。	客観的な分析がより深まっていくよう努めていく。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	共通理解に努め、意見を出し合いながら進めています。	今後も継続して共通理解を目指し、検討していきます。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画の見直しの後に共有しています。すぐに計画が確認できるよう工夫しています。	今後も意見を出し合い、計画に沿った支援へと繋げていきます。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	検査結果は保護者から提供して頂いています。確認できるよう共有に努めています。	検査結果を適切に理解する機会を設けていく。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインに基づいた支援内容となっています。子ども一人一人に合わせた具体的な支援内容を設定しています。	今後も継続していきます。	

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	チームで分担し立案しています。	今後も相談し合って立案し、良いものを取り入れていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	様々なプログラムを取り入れ、固定化しないよう意見を出し合い努めています。	今後も様々なプログラムを取り入れられるよう努めていく。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	子どもの状況の把握に努め、支援計画に沿った個別と集団の支援を行っています。	子どもの状況に臨機応変に対応していくよう支援を行う。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎日支援開始前に、ミーティングを行っています。分担し、周知できるよう、記録しています。	ミーティングの時間が長くなってしまう事がある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	勤務形態の違いにより難しいですが、記録する事で翌日に話し合っています。	支援後の話し合いが難しい分、細かく記録を残していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	業務ノートに記録し、支援の検証、改善に努めています。	記録をとる人が固定されないよう、関わった人が進んで記録を行う。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	丁寧なモニタリングを心掛けています。それに伴い適切に見直しています。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	会議の前には意見や子どもの状況確認の話し合いも行っています。適した職員が参画しています。	今後も適した職員が参画していくよう、見極めていく。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3	必要に応じて連携できるよう努めています。	各機関と適切に連携がとれるよう知識を深め、周知していく事が必要。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	保護者の協力を得て情報共有しています。	情報共有や調整が上手く行えるよう、幼稚園や保育園などに働きかけていく。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	保護者のご要望に応じて、適切な対応に努めています。	今後も必要に応じた適切な情報提供を行っていく。
	28 (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3	今のところ設けていません。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	幼稚園や保育園への送迎を行い、事業所との併用を適切に行えるよう努めています。	細かな計画が必要になり、安全面への配慮や周囲の理解が必要。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	4	送迎時や連絡ノートを活用して、日頃から伝え合えるよう努めています。	多忙な保護者との時間調整が難しい。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	その都度丁寧な情報提供を心掛けています。	適切な情報を提供していく為の支援者側の体制作りが必要。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	利用開始前の契約時に説明を行っています。	分かりやすい説明を今度も検討していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	その都度、職員間で話し合い、適切に助言できるように努めています。	要望を正しく把握し、適切に対応しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者会の開催を予定しています。きょうだい同士の交流については今のところありません。	多くの人に参加していただけるよう発信し、アイデアを出していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情が生じた場合、すぐに対応し解決策が提案できるよう努めています。	事業所全体、法人全体で対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月通信を発行し、配布しています。施設内にも掲示しています。ホームページやブログもあります。	今後もわかりやすく丁寧に発信していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	支援者一人一人が意識し、取り扱いに留意できるよう努めています。	今後も留意していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	分かりやすく丁寧な伝達を心掛けています。	良いものがあれば、常に更新し取り入れていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	現時点では実施しておりません。	状況や環境が整えば、実施に向けて検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	契約時にマニュアルのご説明を行っています。月に1回、非常時を想定した訓練を行っています。	今後も引き続き実施していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	法人全体でBCPの策定があり、定期的に必要な訓練を行っています。	継続して行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	4	契約時にアセスメントを行い、確認しています。定期的にアセスメントの追加を行っています。	事前に確認している。職員の異動などもあるので、定期的に周知していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	今のところ対象者はいませんが、必要に応じて対応できるよう努めています。	対象者はいないが、細心の注意を常に心掛けておく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画に基づいて研修や訓練が行えるよう、安全管理に努めています。	継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	非常時の避難先の案内を行い、緊急連絡先の確認を行っています。	より周知していけるよう努めしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットは記録し、再発防止に向けて職員間で話し合い、検討しています。	今後も行ないます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修の開催があれば参加し、内容の周知に努めています。	引き続き適切な対応に努めしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	法人内に身体拘束委員会が設けられており、組織的に決定しています。丁寧に説明し了解を得ています。	十分話し合い、組織的に今後も取り組んでいく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家保育センター			
○保護者評価実施期間	令和6年 8月 7日 ~ 令和6年 8月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和6年 8月 7日 ~ 令和6年 8月 27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	国で定められている基準よりも、人員配置が多い。	お子様一人一人に寄り添った支援が可能な為、情報共有を重ね、多様な視点から意見を出し合っている。	出た意見を共有するだけではなく、すり合わせを行い、連携した支援へと繋げていく。
2	法人全体として、横のつながりが多い為、交流がしやすい。	同じ敷地内にも児童発達支援や放課後等デイサービスがあり、室内や園庭で交流をしています。	安全面や個々のトラブルにならないよう、支援者の配置や計画を立てていきます。
3	活動カリキュラムが丁寧に設定されている為、カリキュラムに偏りが出にくく。	各曜日や週全体で活動のバランスがとれるよう立案している。新しいものも取り入れていけるよう、分担し立案している。	成長や発達に合った分かりやすいものを、活動に取り入れていけるよう工夫していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内が分かりやすい構造になりにくい。	刺激を減らす事を重視した事により、室内がシンプルに見えやすい。	お子様の刺激に繋がらないよう、普段は収納されている物が多い為、必要時にスムーズに準備していく。
2	収納が少ない。	物の出し入れが多く、形が揃っていない物の整頓が難しい。	定期的に収納の見直しを行い、使用頻度を考え配置を工夫していく。
3	保育所や幼稚園との関りが弱い。	現状は送迎時ののみの関わりになっている。開かれた施設を目指しているが、安全面を考慮すると、課題が多い。	保育所や幼稚園との交流に繋がるよう、利用者についての情報交換を丁寧に行っていく必要があり、検討が必要。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果						
		事業所名		公表日		利用児童		
				令和7年 2月 1日		数 24		
				回収数 14				
環境・体制整備	1	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	2	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	1	どれくらいの人数が利用されているのか知りません。スタッフの数も知りません。	面談の機会を活用し、より丁寧な説明を心掛けていきます。
	3	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	1	・何人いるのかわかりません。適切だとは思われます。たくさんいるので安心。 ・先生の数が多いので安心しています。	面談の機会を活用し、より丁寧な説明を心掛けていきます。
	4	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	13	0	0	1		段差のない、バリアフリーの構造になっています。今後、分かりやすい環境設定や、視覚的な情報提供に努めていきます。
適切な支援の提供	5	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0		今後もこまめな清掃を心掛けていきます。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	1	・通い始めて2カ月ですが、子ども達の成長が目に見えてわかります。 ・子供の好きをよく理解して下さり、寄り添ってくださっていると感じます。	お子様の行動観察を通して、職員間で気づきや課題を共有し合い、支援に繋げていけるよう努めます。また、保護者様との日頃のやりとりを丁寧に行っていきます。
	7	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0		今後も創意工夫し、様々なプログラムを提供していきます。
	8	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0		今後も職員間で活発な意見交換を行い、よりお子様に合った支援目標が設定できるよう努めています。
	9	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0		今後もよりお子様に合った支援目標や支援内容になるよう、支援の幅を広げていきます。
	10	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		お子様の支援内容を把握し、日々の生活で成長が促されるような関わりができるよう努めています。
	11	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	0		より良い活動プログラムになるよう、支援者間で意見を出し合い、様々なプログラムを提供していきます。
保護者への説明等	12	保護者への説明等	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		今後もより丁寧な説明を心掛けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4	0	2	・今後のところ、参加した事がない。 ・今後期待しています。	今年度より実施しています。今後も回数を増やしていきます。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0	・面談の回数がもう少し多いと嬉しいです。 ・毎回必ず聞いてくれているし、伝えてくれる。 ・様子を細かく教えて下さるので、助かります。 ・少しの体調の変化も気かけて下さる。 ・話を聞いています。	日々の様子を丁寧にお伝えしたり、ご家庭でのご様子の把握に努め、共通理解をもてるようになります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	0	・今のところ、面談やアドバイスといったものはない。 ・行われていると思います。	ご家庭でのお困り事に対するアドバイスや助言ができるよう、相談しやすい雰囲気やより丁寧な面談を心掛けています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	1	・不安があると必ず相談を聞いて下さります。 ・こちらの話をしっかり受け止めてくれる。	保護者様のお困り事に寄り添えるよう、日々のやりとりを丁寧に行っていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	0	5	・今後期待しています。	ご要望に合ったテーマの保護者会を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	0	・心配事など相談した場合も、すぐに対応して下り、職員の方々が親身になって子どもの事を思ってくれているのがわかる。 ・しっかり相談にのってもらえる。	日頃から相談しやすいような雰囲気づくりに努めています。また、相談や申し入れがあった場合は、伝え漏れがないよう、支援者間で周知徹底を心掛け対応に繋げていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		今後もより丁寧にやりとりを行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者にに対して発信されていますか。	14	0	0	0		面談時や契約時、施設見学時に引き続きご案内を行っていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	1		金庫やシュレッダーを活用しつつ個人情報の取り扱いに十分注意し、現状を発信していきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	0	・訓練等しっかりしていると感じます。	面談、契約、施設見学時に引き続きご案内を行っていきます。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	0		今後もしっかりと行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		今後も安全に十分配慮していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	2		怪我の大小に関わらず、些細な出来事でもお伝えできるよう、職員間で情報伝達を行い、説明していきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	・職員の方がたくさんいらっしゃいますが、どの方も感じが良く、子ども達にも話しかけ、優しく接して下さる。子ども達も、駆け寄って園での生活を楽しんでいる。兄弟と言う事もあり、送り迎えの時、職員の方々が快く手伝ってくださり、助かる。 ・毎回楽しそうに通う子どもを見て、本当に感謝しています。	お子様が安心して楽しく過ごせるよう、信頼関係を築きつつ、継続して通所できるよう支援に努めています。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	3	0	1	・その日の気分による。日によるようです。	お子様の生活の流れを意識しつつ、小さな表情やサインを見逃さず、楽しく通えるよう、支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	・いつもありがとうございます。満足しています。	より質の高いサービスや支援を行えるよう努めています。